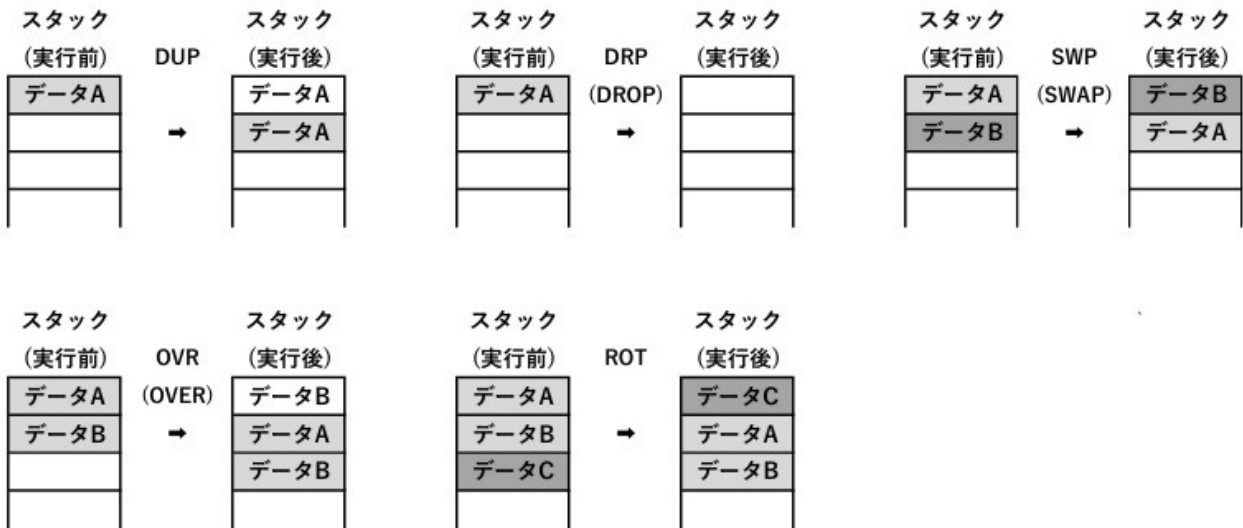


sys.dicの解説(第1版) ※Ver1.6対応

システムディクショナリ(sys.dic)は、超小型記号言語で記述されたワード定義ファイルです。
Ver1.6では、次のワードが定義されています。

区分	ワード名	動作	スタック の増減	備考
スタック操作 (Stack)	DUP	下図に記載	+1	
	DRP	〃	-1	
	SWP	〃	0	
	OVR	〃	+1	
	ROT	〃	0	
演算子 (Operator)	+1	スタックトップを+1	0	(例) #4: +1 . (5を表示) (例) #4 X! X@: +1 X! X@ . (5を表示)
	++	変数(A~Z)を+1	-1	(例) #4 X! X: ++ X@ . (5を表示)
	-1	スタックトップを-1	0	
	--	変数(A~Z)を-1	-1	(例) #4 A! A: -- A@ . (3を表示)
	^2	スタックトップを2乗	0	(例) #9: ^2 . (81を表示)
	^3	スタックトップを3乗	0	
	^0.5	スタックトップを0.5乗(平方根)	0	小数点以下は切上げ、負数の演算結果は0 (例) #82: ^0.5 . (10を表示)
別名定義 (Alias)	SWAP	下図に記載	0	SWP と同一動作
	DROP	〃	-1	DRP と同一動作
	OVER	〃	+1	OVR と同一動作
	FALSE	偽 (0) をスタックにPUSH	+1	
	TRUE	真 (-1) をスタックにPUSH	+1	
	GOTO	真 (-1) をスタックにPUSH	+1	(例) :GOTO a] (ラベル [a へジャンプ)
	CR	改行	0	(例) "HELLO" :CR



次のワードは、システムディクショナリ内部で使用するためのものです。通常のプログラミングでは使用しないでください。

`_A<< _B<< _C<< _A>> _B>> _C>> _! _@`

以上